



2019.7.19 改訂

わたしたちの
えらんだ本

このほんよんで III

中学生から大人



北本市立中央図書館
北本市立こども図書館
北本市子ども文庫連絡会
北本子どもの本を楽しむ会



みなさんへ



このブックリストでは、長い間たくさんの人達に
読みつがれ楽しまれてきた本を中心に紹介しています。

みなさんと本とのすばらしい出会いを願っています。

このブックリストがそのきっかけになれば幸いです。

*** 利用の手引き ***

- ◇ 本は書名の50音順に並べてあります。
- ◇ 中学 マークは中学生へのおすすめ本です。
- ◇ 絶版 マークは絶版本になっているため、書店で購入することができません。
- ◇ ブックリスト “この本よんで” は、3冊に分かれています。
 - I 赤ちゃん&小さい子から小学3年生くらいまで
 - II 小学3年生くらい~&小学5年生くらい~
 - III 中学生から大人

1 青い鳥 (岩波少年文庫)

中学

メーテルリンク 作
末松 氷海子 訳

岩波書店



クリスマス・イヴの夜、貧しい木こりの子ども、チルチルとミチル兄妹のところに魔法使いが現れる。人間には見えないものが見える不思議な帽子を渡され、二人は幸せの象徴である“青い鳥”をさがす旅に出る。6幕12場の戯曲。

2 足音がやってくる (岩波少年文庫)

マーガレット・マーヒー 作
青木 由紀子 訳

岩波書店



「バーナビーが死んだ！ぼくはとってもさびしくなるよ。」と幽霊に言われたバーニー。それってぼくのことなの？ひたひたと近づいてくる頭の中の足音。少年バーニーは恐怖に追いつめられていく。

3 あしながおじさん

中学

J・ウェブスター 作・画
坪井 郁美 訳

福音館書店



孤児院で育ったジュディは、一人の評議員の計らいで大学に入り、その人を“あしながおじさん”と名付け手紙を書く。ジュディは初めての自由な世界での喜びや驚きを素直に綴る。

4 アマリリス号 待ちつづけた海辺で

絶版

ナタリー・バビット 作
斉藤 健一 訳

福武書店

ジェニーの祖母は、夫が船ごと海に吞まれてしまうのを岸で目の当たりにした。以来 30 年、祖母は人を魅了しつつも寄せ付けぬ神秘的な海からやってくる夫の“しるし”を探し続けてきた。

5 あらしの前 (岩波少年文庫)

ドラ・ド・ヨング 作
吉野 源三郎 訳

岩波書店



第二次世界大戦下のオランダ。静かな村の開業医オルト家は6人の子どもと幸せに暮らしていた。だが、ここにも戦争の嵐がおそってきた。ユダヤ人の少年を受け入れ、どんな状況におかれても希望を失わず、正しいことを信じて生きる家族の物語。続編「あらしのあと」

6 アラビアン・ナイト 上・下 (岩波少年文庫)

ディクソン 編
中野 好夫 訳

岩波書店



「千夜一夜物語」264 編の中から、特に有名な 16 話を収録。「船乗りシンドバッドの7回の航海の話」「魔法の馬」「アラジンと魔法のランプ」「アリババと四十人の盗賊」など、冒険や魔法や機智・謎に富んだ物語。

7 ある小馬裁判の記

ジェイムズ・オールドリッジ 作
中村 妙子 訳

評論社

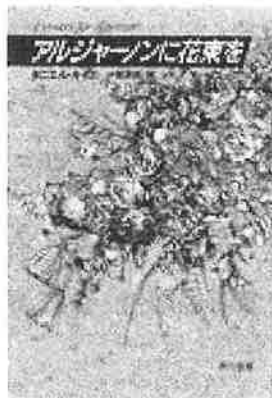


移民の貧しい少年スコティーの小馬タフがいなくなった。しばらくして、町一番の金持ちの娘ジョジーを乗せて走る馬ボーンを見たスコティーは、それがタフだと確信する。どちらも自分の馬だと譲らず、町の人々まで真二つに割れての裁判となる。

8 アルジャーノンに花束を

ダニエル・キイス [著]
小尾 芙佐 訳

早川書房



幼児の知能しかない青年チャーリーは、“頭のよくなる手術”を受ける。急激に知能が高まったためにおこる様々な葛藤。やがて事前に同じ手術を受けたネズミのアルジャーノンに異変が起こる。

9 イシ 二つの世界に生きたインディアンの物語

シオドーラ・クローバー 作
中野 好夫・中村 妙子 訳

岩波書店



アメリカの先住民ヤヒ族のイシは、家族と共に祖先から伝わる知恵を駆使して生活していた。しかし、白人に住みかを追われ、一人また一人と命を落とし、ついにはたった一人に。インディアンとして尊厳をもって生きた最後の一人の実話。

10 海の島 ステフィとネッリの物語

アニカ・トール 著
菱木 晃子 訳

新宿書房



ナチスの迫害から逃れるため、ウィーンの親元を離れてスウェーデンで別々の家に預けられる事になった姉妹。妹のネッリは新しい生活にすぐに慣れるが、姉のステフィはスウェーデン語も友達も里親ともうまくいかずにつらい日々を送る。

11 運命の騎士 (岩波少年文庫)

ローズマリ・サトクリフ 作
猪熊 葉子 訳

岩波書店



城の犬飼いをしている孤児ランダルは、虐げられてきた。城主に半殺しにされようという時、楽人に助けられ、ある騎士に託される。その騎士の孫ペービスの小姓となり、友情を育み、ともにたくましく成長してゆく。

12 LSD—兄ケビンのこと

マヤ・ヴォイチェホフスカ 作
清水 真砂子 訳

岩波書店



成績優秀、運動もできる兄ケビンは家族の自慢。大学入学後、一年ぶりに帰省した兄は、見た目も考え方も別人になっていた。両親は気づかないが、兄に憧れている弟ジミーは兄が薬物中毒になっていると知る。兄は薬物からぬけ出せるのか。

13 オオカミに冬なし

リュートゲン 作
中野 重治 訳

岩波書店



北極海に閉じ込められた捕鯨船の 275 人。その命を救うために、一介の船員と若い医者が極寒の大地を越えてトナカイの群れを連れて行こうとする。雪と氷の恐怖、食糧難や孤独、死と隣合わせの日々。彼らの救助は間に合うのか。

14 丘の家のセーラ ヒルクレストの娘たち 1

ルース・エルウィン・ハリス 作
脇 明子 訳

岩波書店



あいついで両親を失ったパーセル家の四人姉妹。愛する我が家、ヒルクレスト荘を自力で守ろうと決心するが、経済的不安に加え、第一次大戦という社会不安も重なり、姉妹の運命は大きく変わっていく。物語は末っ子セーラの視線で進んでいく。続編「フランセスの青春」「海を渡るジュリア」「グウェンの旅立ち」

15 贈りものは宇宙のカタログ

マーガレット・マーヒー 作
青木 由紀子 訳

岩波書店



高校生のアンジェラは、会ったことのない父親を探し出し対面するが、失望し深く傷つく。その挫折に苦しみながらも自分の気持ちを見つめ直す。そして、身近な友人と思っていた青年への愛に気づき、母親との間にあったわだかまりも消えていく。

16 鬼の橋

伊藤 遊 作
太田 大八 画

福音館書店



平安時代の京都、貴族の子、小野^{たかむら} 篁は妹が落ちて死んだ井戸を見に行き、思わず吸い込まれてしまう。井戸の底には、鬼が待つこの世とあの世を分ける橋があった。鬼から逃れ、この世に戻った篁は、五条の橋で別の鬼と出会う。

17 思い出のマーニー 上・下 (岩波少年文庫)

中学

ジョン・ロビンソン 作
松野 正子 訳

岩波書店



孤独な少女アンナは静養のため海辺の村に預けられる。屋敷の不思議な少女マーニーと出会い、二人だけの世界に夢中になる。だがマーニーは突然姿を消してしまう。屋敷に越してきた家族と親しくなるうち、マーニーの秘密が解き明かされていく。

18 おやすみなさいトムさん

ミシェル・マゴリアン 作
中村 妙子 訳

評論社



第二次世界大戦下のイギリス。トムは国民の義務として疎開児童のウィリーをいやいや引き受ける。トムは孤独で頑固な老人だったが、母親から虐待を受けていたウィリーの世話をするうちに、いつしか二人の間に温かな愛情が育っていく。

19 かあさんは魔女じゃない

ライフ=エスパ=アナセン 作
木村 由利子 訳
マッス=スターエ 絵

偕成社



エスベンの母親は人々の病を治す術を使っていたが、一人の死をきっかけに魔女裁判にかけられ、少年の前で火あぶりにされた。逃げだしたエスベンは、世捨て人ハンスに助けられ共に暮らすようになる。だがハンスもまた病を治す術を知る男だった。

20 かかし 今一、やつらがやってくる

絶版

ロバート・ウェストール 作
金原 瑞人 訳

福武書店

亡き父を崇拜するサイモンは、母親と再婚相手に憎悪を抱く。新しく棲んだ家の外の畑に、ある日奇妙な“かかし”が現れる。そしてサイモンの憎悪がふくらむにつれて、かかしたちは家に近づいてくる。

21 影との戦い ゲド戦記1 (岩波少年文庫)

アーシュラ・K. ル=グウィン 作
清水 真砂子 訳

岩波書店



ローク島の魔法学院で学ぶ少年ゲドは、おごりとねたみの心から、自分の力を示すため、禁じられた魔法を使い影を放ってしまう。ゲドが追われ、また追いかける影とは？無数の島々からなるアースシーを舞台にした、読むほどに深まる魔法世界。続編「こわれた腕輪」「さいはての島へ」

22 風の妖精たち (岩波少年文庫)

メアリ・ド・モーガン 作
矢川 澄子 訳

岩波書店



「誰に教わったか決して話してはならない」という固い約束とひきかえに風の妖精たちから美しい踊りを教わったリュシラの話をはじめ、悪い妖精に声を盗まれた若者の話など、不思議な世界へいざなってくれる7つの短編集。

23 ギヴァー 記憶を注ぐ者

ロイス・ローリー〔著〕
島津 やよい 訳

新評論



ジョーナスは苦痛も争いもない理想的な共同体に住んでいる。ここでは12歳になると、性格や能力をふまえて長老たちにより職業が決定される。医師や弁護士、養育係、出産婦など、皆が様々に任命される中、ジョーナスは、封印された“記憶の^{レシー}ヴァー^器”に選ばれてしまう。

24 金色の影

絶版

ガーフィールド&ブリッシェン 作
沢登 君恵 訳

ぬぷん児童図書出版

神々の話を語りながら旅をする老吟遊詩人は、自分も神を見たいと思いつつも見る事ができない。主神ゼウスとプロメテウスとの戦い、ヘラクレスの悲劇とその12の罪の償い、海の女神テティスのふしぎな運命など、ギリシアの神々の壮大な世界がくり広げられている。

25 クラバート

オトフリート＝プロイスラー 作
中村 浩三 訳
ヘルベルト＝ホルツィング 絵

偕成社



少年クラバートは、不思議な夢に導かれ湿地の水車場の見習いになる。11人の粉ひき職人とともに親方の指示で働くが、不可解な出来事が続く。そして、親方と対決する日がやってくる。

26 グリーン・ノウの子どもたち

中学

ルーシー・M・ポストン 作
亀井 俊介 訳
ピーター・ポストン 絵

評論社



冬休みを過ごすため、古いお城のようなグリーン・ノウ屋敷へやってきたトリー少年。優しい大おばあさんのもとで、屋敷の不思議な魅力にふれ、300年前にここに生きていた子どもたちの存在を感じ取るようになる。

27 クリスマス・キャロル (岩波少年文庫)

ディケンズ 作
脇 明子 訳

岩波書店



ロンドンの金融街に事務所を持つスクルージは、冷血の守銭奴として有名。クリスマス・イヴ、彼のもとに7年前に死んだ共同経営者マーレイの幽霊が現れ、これから3人の幽霊が訪れると告げる。それは過去、現在、未来のスクルージを見せる幽霊だった。

28 黒馬物語 (岩波少年文庫)

シュウエル 作
土井 すぎの 訳

岩波書店



荷馬車や辻馬車など、馬が重要な労働力だった頃のイギリス。育ちのよい、美しい黒馬の半生を馬自身が語る。売られた先の様々な環境で、道具としてひどい扱われかたをしたり、主人に愛され一体となって働いたり、馬の目を通した人間の姿が描かれている。

29 剣と絵筆

絶版

バーバラ・レオニ・ピカード 著
平野 ふみ子 訳

すぐ書房

伯爵の家に生まれながら、騎士となるには内気で臆病なスティーブンは僧院に送られてしまう。そこで出会った絵の世界に惹かれつつも、騎士になって家族を見返してやりたいという思いで僧院を脱走する。大切な人との出会いや別れをとおして自分の生きる道を見つけていく。

30 五月の鷹

絶版

アン・ローレンス 作
斎藤 倫子 訳

福武書店

アーサー王の治世。王の甥ガウエインは旅の途中で罾にかかり、いわれのない罪を着せられる。「すべての女性が最も望んでいることは何か」という謎を解かなければ、二年後に命を奪われてしまう。ガウエインは答えを求めて放浪の旅に出る。

31 九つの銅貨

W・デ・ラ・メア 作
脇 明子 訳
清水 義博 画

福音館書店



病気のおばあさんをかかえ困っていた貧しい娘は、小人のおじいさんに、九日のあいだ毎日1ペニーずつ支払うと約束して助けてもらう「九つの銅貨」。他にけちんぼな老人、さびしい姉妹、貧しい若者に起こる不思議で温かいお話が4話。

32 西遊記 上・下

呉 承恩 作
君島 久子 訳
瀬川 康男 画

福音館書店



傍若無人だが命がけで師を守る孫悟空、大食いで調子者の猪八戒、真面目な沙悟浄、高僧でありながら臆病な三蔵法師。4人は経典を手に入れるため、はるか天竺を目指すが、道中、妖怪や魔物に行く手を阻まれる。時には菩薩に助けられながらの痛快な物語。

33 ジョコンダ夫人の肖像

E・L・カニグズバーグ 作
松永 ふみ子 訳

岩波書店



レオナルド・ダ・ヴィンチは、嘘つきで泥棒もする10才のサライを雇い生涯傍に置いた。巨匠と呼ばれミラノの宮廷から多くの依頼を受けるが、サライはそれを上手にあしらった。レオナルドはなぜ商人の妻の肖像を描いたのか。“モナ・リザ”誕生の物語。

34 スイート川の日々

絶版

ルース・ホワイト 作
ホウゴ 政子 訳

福武書店

母、姉とスイート川の谷に移り住んだ6才のジニー。自然あふれる谷で、貧しくも、友達とごっこ遊びや歌、時には危ない遊びをして暮らす。しかし閉鎖的な谷ではうわさ話が絶えなかった。子ども時代の平和かつ残酷な日々が、ジニーを通して描かれる。

35 星条旗よ永遠なれ

絶版

アヴィ 作
唐沢 則幸 訳

くもん出版



フィリップは、ナーウィン先生への反発から国歌演奏中にハミングをし、停学に。個人の問題が全米を騒がせ、わずか4週間の間に二人の運命をも変えていく。あなたならどう考える？ドキュメンタリー風の作品。

36 精霊の木

中学

上橋 菜穂子 作
二木 真希子 絵

偕成社

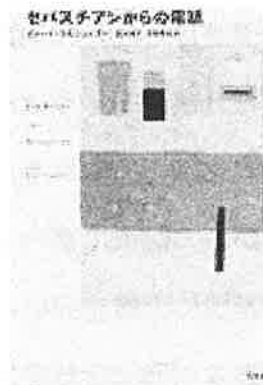


環境破壊によって地球に住めなくなった人類が、他の惑星に移住する未来世界。先住民ロシュナールの血を引くリシアはある日“時の夢見師”の力にめざめ、いとこのシンと共に環境調整局によって都合良く塗り替えられた歴史の秘密にせまる。

37 ゼバスチアンからの電話

イリーナ・コルシュノフ 作
石川 素子・吉原 高志 訳

白水社



17歳のザビーネはいつもゼバスチアンのことを一番に想っていた。けれど、ある日彼から「僕以外に大切なものを探せよ」と言われて、けんかとなった。父の言いなりにになっている母を非難しながらも自分も同じだったと気づいたザビーネは、自分を見つめ直していく。

38 センス・オブ・ワンダー

レイチェル・カーソン〔著〕
上遠 恵子 訳
森本 二郎 写真

新潮社



自然にふれる喜びの中から子どもの感性が育まれること、子どもが会う新鮮で驚きに満ちた世界に共感できる大人の存在が大切であることを、作者カーソン自身の体験を通して伝えてくれる。子どもにかかわるすべての人に読んでほしい1冊。

39 大地の子エイラ 始原への旅だち第1部 上・中・下 絶版

ジーン・アウル〔著〕
中村 妙子 訳

評論社



紀元前3万年頃の黒海の半島。大地震で家族や仲間を失った5歳のエイラは、旧人類に救われ洞穴で生活を共にする。言葉を持たず、先祖からの記憶に寄って暮らす氏族の中での差別に苦難を強いられながらも、新人類のエイラは自分を見失わず命を繋いでいく。

40 第八森の子どもたち

中学

エルス・ペルフロム 作
野坂 悦子 訳
ペーター・ファン・ストラーテン 絵

福音館書店



第二次世界大戦時のオランダ。ノーチエと父さんは町を追われ、森の農家の世話になる。戦争は激しくなるが人々は温かい心を失わず、子どもたちはたくましく日々を送る。脱走兵やユダヤ人一家とのかかわりなど、終戦までの森での生活が描かれる。

41 魂の呼び声 能物語

白洲 正子〔著〕
松野 秀世 絵

平凡社



能は室町時代に完成された舞台芸術で、舞と謡うたいによって構成される。はるか昔に生きた人が、この世に残した狂おしいほどの思いを訴えるために夢うつつの間にあらわれ、幽玄の世界へと誘い込む。静寂な趣の中に激しい人の心を物語る。1979年刊行。

42 注文の多い料理店 イーハトーヴ童話集（岩波少年文庫） 中学

宮沢 賢治 作

岩波書店



二人の男が狩りに行くと、人も来ない山奥に西洋料理店があった。入ってみるとたくさんの戸があり、男たちへの色々な要求が書いてあるという表題作のほか童話8編、「雨ニモマケズ」等の詩11編が収録されている。続編「風の又三郎」「銀河鉄道の夜」

43 ツバメ号とアマゾン号 上・下 (岩波少年文庫) 中学

アーサー・ランサム 作
神宮 輝夫 訳

岩波書店



夏休みに湖畔に来たウォーカー一家の4人兄弟は、湖にある無人島でのキャンプを両親に許されて小さな帆船ツバメ号を両親に許されて小さな帆船ツバメ号を両親に許されて小さな帆船ツバメ号で探検に出る。そこへ海賊アマゾン号でブランケット家の姉妹が現われ、島をめぐる挑戦してくる。4人兄弟と姉妹はひと夏、冒険を楽しむ。

44 ディア ノーバディ (新潮文庫) 絶版

バーリー・ドハティ [著]
中川 千尋 訳

新潮社



高校生のヘレンは、ボーイフレンドのクリスとの間に小さな命が宿ったことを知る。大学進学を目前に動揺と不安の中、その命に“ディア ノーバディ”と呼びかけて文を綴る。クリスとも距離をおき家族との葛藤を抱えながらも、小さな命への思いが次第に深まっていく。

45 TN君の伝記 (福音館文庫)

なだ いなだ 作
司 修 画

福音館書店



幕末から明治維新を経て日本が国家を築いていく変遷を、TN君を通して描いている。自由とは何か、民主主義とは何か、この時代の人々がどのように考え生きていたのか、教科書ではわからない歴史が見えてくる。

46 ディダコイ

R・ゴッデン 作
猪熊 葉子 訳

評論社



ジプシーと白人の混血児“ディダコイ”の少女キジィは、ジプシーのひいおばあさんと荷馬車で暮らしていた。おばあさんの死後ジプシーに理解を寄せる提督に引き取られる。学校にも通い始めるが本来野生的なキジィは馴染むことができない。

47 寺町三丁目十一番地

中学

渡辺 茂男 作
太田 大八 画

福音館書店



昭和10年代、寺町三丁目で写真屋を営む福つつあんなは、13人の大家族の大黒柱で、頑固だが気のいい父親だ。決して裕福とはいえない環境の中で、逞しく育つ子どもたちと子煩悩な両親。ひたむきに生きる家族の結びつきや強さを描く。

48 闘牛の影 (岩波少年文庫)

マヤ・ヴォイチェホフスカ 作
渡辺 茂男 訳

岩波書店



有名な闘牛士だった父はマロノが3才の時死んだ。町の人々はマロノに父の姿を重ね期待をかけるが、マロノは闘牛への恐怖心や期待の圧力を克服できない。12才の初闘牛の日が近づくとつれ、マロノはこれが自分の進む道かと悩む。

49 時の旅人

アリスン・アトリー [著]
小野 章 訳

評論社



ペネロピーは病氣療養のため農場サッカーズにやってきた。ある時、16世紀の荘園サッカーズに迷いこみ、領主バビントン家の人々と出会い、時の中を行き来するうちに心惹かれていく。そして王位継承の争いの悲劇に巻き込まれる。

50 とどろく雷よ、私の叫びをきけ

ミルドレッド・D・テーラー [著]
小野 和子 訳

評論社



1866年の奴隷解放から70年以上過ぎたが、アメリカ南部では黒人への壮絶な差別の日々が続いていた。両親の愛情に包まれて育った黒人少女キャシィは、白人の仕打ちに打ちのめされ怒りながらも、家族とともに人間らしく生きようとする。

51 隣の家の出来事

ヴィリ・フェーアマン 作
野村 滋 訳

岩波書店



ドイツの田舎町で少年が殺された。犯人は誰だ？ 疑いの目は近所のユダヤ人家族に向けられた。狂気と悪意の中、孤立する一家のそばで真実を見つめ友情を貫き通す人がいた。

52 飛ぶ教室 (岩波少年文庫)

中学

エーリヒ・ケストナー 作
池田 香代子 訳 (高橋 健二訳も有)

岩波書店



冬休み目のドイツの寄宿学校。クリスマス劇「飛ぶ教室」のけいこをする5人の少年の元に、仲間が他校の生徒に連れ去られたとの知らせが。救い出すために寮の規則を破る少年たち。厳しくもあたたかい先生に見守られ、少年たち一人一人が成長していく。

53 トムは真夜中の庭で

中学

フィリパ・ピアス 作
高杉 一郎 訳

岩波書店



夏休み、弟がはしかにかかってしまったので、おばさんの家に預けられたトム。退屈で眠れない真夜中、邸宅の大時計が13時を打つのを聞き、ホールへ降りていく。そして裏口の戸を開けてみると、昼間にはなかった美しい庭園が広がっていた。そこで少女ハティと出会う。

54 砦

モリー・ハンター 作
田中 明子 訳

評論社



5才の時、ローマ軍の襲来により両親を失い、足を不自由にさせられたコル。族長の娘たちや親友ニアルと共に成長した彼は、敵襲を防ぐ自衛の手段、石の砦の建築構想に心血を注いでいた。そんな中、ローマから逃げてきた男タランが現れ、よこしまな企み始める。

55 長い冬 (岩波少年文庫)

ローラ・インガルス・ワイルダー 作
谷口 由美子 訳

岩波書店



インガルス一家はアメリカ西部の小さな開拓地に住んでいた。その年の冬は厳しく、10月から5月まで吹雪に閉ざされ、汽車はとまり大草原のなかで孤立してしまう。食料も燃料もない過酷な生活の中で、知恵や工夫で日々をつなぎ明るさを失わず懸命に生きぬく家族の物語。

56 二度とそのことはいうな？

絶版

バルバラ・ゲールツ [著]
酒寄 進一 訳

佑学社

第二次世界大戦時のベルリン。ハンナの父はドイツ軍の大佐であるが、ヒトラーのナチズムに対して批判的で、家族や親しい友人との時だけ本心を語っている。戦争は日々激しくなり、ハンナの大好きな人を1人また1人と奪っていつてしまう。

57 二年間の休暇 上・下 (偕成社文庫)

中学

J・ヴェルヌ 作
大友 徳明 訳

偕成社

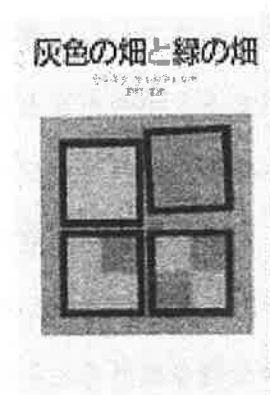


夏休み、少年達は沿岸航海を楽しもうと船に乗り込んだ。ところが知らぬ間に船は大海へ…漂着したところは島なのか大陸なのか。8歳から14歳の15人の少年たちはすぐにやってくる冬に備え、住める場所を見つけ、全員が助かる道を探していく。

58 灰色の畑と緑の畑 (岩波少年文庫)

ウルズラ・ヴェルフエル 作
野村 滋 訳

岩波書店



同じ名前の小作人の娘と地主の娘、二人のフワニータを描いた表題作「灰色の畑と緑の畑」。アルコール中毒の母親と暮らす少年の話「ろくでなし」など14の短編集。現代社会がかかえるさまざまな問題が、読みやすい言葉で綴られている。

59 はてしない物語

中学

ミヒヤエル・エンデ 作
上田 真而子・佐藤 真理子 訳

岩波書店



いじめられっ子の少年バスチアンは、クラスメートにからかわれ逃げ込んだ古本屋で「はてしない物語」の本と出会う。こっそり持ち出し、学校の屋根裏にかくれて読むうちに、物語の中の国ファンタージェンが滅亡の危機にあり、自分を待っていることに気づく。

60 肥後の石工 (岩波少年文庫)

今西 祐行 作

岩波書店



江戸時代末期、肥後の石工たちは薩摩で橋を造るが、完成すると秘密を守るために殺された。石工頭の三五郎はただ一人生き延びて故郷にたどり着くが、自分も死ねばよかったと苦しむ。そんな時、村人たちのために大きな橋を架けることを依頼される。

61 ぶきっちょアンナのおくりもの

中学

絶版

ジーン・リトル 作
田崎 眞喜子 訳

福武書店

アンナは5人兄弟の末っ子。みんなができることがうまくできなくてのけ者扱いされるが、パパだけはアンナの味方。アンナがぶきっちょなのは、目がよく見えていないせいだとわかり、めがねをかけることに。アンナの世界は広がり、パパ以外の人達にも心を開いていく。

62 ふしぎなオルガン (岩波少年文庫)

リヒャルト・レアンダー 作
国松 孝二 訳

岩波書店



若いオルガン作りが、神さまの思召しにかなった花嫁花婿が教会に入ってくるとひとりでに鳴りだすというオルガンを作った。しかし、彼の結婚式ではオルガンは音ひとつたてなかった。彼はこれを花嫁のせいにして村をとびだした。表題作の他 20 編。

63 豚の死なない日

ロバート・ニュートン・ペック 著
金原 瑞人 訳

白水社



シェーカー教徒の家に生まれた12歳の少年ロバートは、家族とつましく暮らしていた。農夫であり、豚を殺すことも仕事としていた父から、誇りを持って誠実に生きることを学ぶ。金持ちではないが、決して貧しくはない暮らしとは。

64 Brother Eagle, Sister Sky 酋長シアトルからのメッセージ

スーザン・ジェファーズ 絵
徳岡 久生・中西 敏夫 訳

JULA 出版局



「空が金で買えるだろうか？」
1850年代、アメリカ政府が部族の土地を買いあげようとした時、酋長シアトルは集まった人々に語りかけた。彼のメッセージは力強く時代をこえて心にひびく。

65 プラテーロとぼく アンダルシアのエレジー（岩波少年文庫）

J. R. ヒメネス 作
長南 実 訳

岩波書店



詩人ヒメネスは「ねえ、プラテーロ」と銀色のロバにやさしく語りかけながら、スペイン、アンダルシア地方の田園を歩いて行く。青い空と白い家々に明るい太陽が降り注ぐ風景を背景に、故郷への愛とせつなさの込められた美しい散文詩。

66 ぼくは松葉杖のおじさんと会った

絶版

ペーター＝ヘルトリング 作
上田 真而子 訳

偕成社

ぼくは
松葉杖の
おじさん
と会った

第二次世界大戦直後のウィーン。その混乱の中で少年トーマスは母親とはぐれてしまう。その時松葉杖の青年と会った。彼はときに少年を突き放し、ときに守っていく。そして、二人は寄り添い、互いを信頼しあうようになる。

67 ぼくはレース場の持主だ!

P・ライトソン〔著〕

猪熊 葉子 訳

M・ホーダー 絵

評論社



自分をレース場の持主だと思い込んでしまった少年アンディ。彼を大切に思う友人たちは本当のことを知らせようと試みるが、うまくいかない。次第にレース場で働く大人たちをも巻き込んだ大事になってしまう。

68 星の王子さま (岩波少年文庫)

中学

サン＝テグジュペリ 作

内藤 濯 訳

岩波書店



サハラ砂漠に飛行機が不時着し、ぼくは一人ぼっちで眠った。すると「ね…ヒツジの絵をかいて!」という声がある。それは、6つの星をたずね7つ目に地球にやってきた星の王子さまだった。

69 ホビットの冒険 上・下 (岩波少年文庫)

中学

J. R. R. トールキン 作

瀬田 貞二 訳

岩波書店



居心地の良い穴で幸せに暮らしていたホビット小人のビルボのもとに、突然、魔法使いガンダルフが現れ、竜に奪われた宝を取り戻す冒険の旅へ誘う。心ならずも旅に加わったビルボだが、13人の仲間とさまざまな困難に立ち向かう。

70 魔女とふたりのケイト

キャサリン・M・ブリッグズ 作

石井 美樹子 訳

岩波書店



17世紀半ばの英国、母の再婚でケイトに仲の良い心優しい妹ができる。しかし、母は継娘をその美しさゆえに激しく憎む。ケイトは母が魔女であることに衝撃を受けながらも、妹を守りぬこうとする。

71 マリアンヌの夢 (岩波少年文庫)

キャサリン・ストー 作
猪熊 葉子 訳

岩波書店



マリアンヌは病気が長引いていた。ある日、古い裁縫箱にあった鉛筆で絵を描くと、不思議なことに夢の中にその情景が現れた。マリアンヌは夢の中でだんだん追い詰められていく。

72 ムギと王さま 本の小べや1 (岩波少年文庫)

中学

ファージョン 作
石井 桃子 訳

岩波書店



「エジプトの王はムギよりも黄金に輝き、王の命はムギよりもながいのじゃ！」王はそう言ってムギ畑を焼いてしまった。その王の墓に残された10本のムギの穂は、何千年も経って再び芽を出し黄金に輝く。それぞれ独創的で、詩的・想像力に溢れる作品27編。

73 燃えるアッシュ・ロード (偕成社文庫)

サウスオール 作
小野 章 訳

偕成社



オーストラリアの1月、北風が突風になり、アッシュ・ロード周辺に住む人々は、野外の火の扱いには特に気を配っていた。だが、別の町からハイキングに来た三人の少年の不注意で山火が起こった。火はみるみるうちに人々を取り巻いてしまった。

74 モギ ちいさな焼きもの師

中学

リンダ・スー・パーク [著]
片岡 しのぶ 訳

あすなろ書房



親もいない、本当の名前も知らない少年モギは、橋の下で、トゥルミじいさんと暮らしていた。ある時、美しい高麗青磁の輝きに魅せられ、モギの運命が変わっていく。モギは貧しい暮らしの中で、勇気を持って働き、学び、何があってもひたむきに生きていく。

75 モモ (岩波少年文庫)

中学

ミヒヤエル・エンデ 作
大島 かおり 訳

岩波書店



廃墟に住みついた不思議な女の子モモ。人々はモモを訪ね話を聞いてもらうと、目の前が開け勇気が湧いた。しかし、この町に灰色の時間どろぼうがやってきて、人々から時間を奪っていく。モモはこの時間どろぼうと対決する。

76 夢を掘りあてた人 トロイアを発掘したシュリーマン

ヴィーゼ 作
大塚 勇三 訳

岩波書店



貧しい牧師の息子シュリーマンは、父から聞かされた古代ギリシアのトロイア滅亡の物語に強く心をひかれ、いつか自分が3000年前の都を発掘するという夢を持つ。数ヶ国語を学び、休む間を惜しんで働く商人となった彼は、莫大な資産を手に入れ、発掘にとりかかる。

77 妖精ディックのたたかい

中学

キャサリン・M・ブリッグズ 作
山内 玲子 訳

岩波書店



妖精ディックはある地主屋敷に住みつき、何百年もの間、家の宝を守ってきた。その屋敷を継いできた地主一族は没落し、代わりに越してきたのは妖精など信じない裕福な商人一家だった。

78 リトル・トリー

フォレスト・カーター 著
和田 穹男 訳

めるくまーる



両親と死別した5才のリトル・トリーは、インディアンとしての誇りを持った祖父母と暮らし始める。季節が巡る度に自然が与えてくれる草や実を採り、木や川や鳥や風と会話した。そして、自然を征服するのではなく共存していくことを学んでいく。

79 レニとよばれたわたし 戦争でさらわれた女の子の話

中学

ズデニユカ＝ベズチェコバー 著

井出 弘子 編訳

エバ＝ベドナージョバー 画

絶版

らくだ出版

第二次大戦下、レニはドイツ人の家庭の子として育った。なぜ母親は自分に冷たいのか、なぜ家族は自分に聞こえないように話すのか、レニは違和感の中で生きていた。ある日、レニは本当の出生を知る。そして、未来を切り開いていく。

80 レ・ミゼラブル 上・下 (岩波少年文庫)

ユーゴー 作

豊島 与志雄 編訳

岩波書店



ナポレオン時代後の揺れ動くフランス。一切れのパンを盗んだだけで19年も囚人生活を強いられたジャン・ヴァルジャンは、司教の愛に助けられ人間らしさを取り戻す。厳しい追っ手に怯えながらも、貧しい人々に心を寄せて生涯を送る。

81 ロケットボーイズ 上・下 (草思社文庫)

中学

ホームー・ヒッカム・ジュニア [著]

武者 圭子 訳

草思社



炭鉱の町で育った高校生はソ連の人工衛星が空を飛ぶのを見て、自分たちが作ったロケットを飛ばすことを夢見る。初めは誰にも相手にされなかった彼らの夢は、すたれゆく町の唯一の希望となっていく。元NASAのエンジニアの青春を描いた自伝。

82 ロビン・フッドのゆかいな冒険 1・2 (岩波少年文庫)

ハワード・パイル 作

村山 知義・村山 亜土 訳

岩波書店



12世紀のイングランド。シャーウッドの森に住むロビンは、弓の名手にしておたずね者。彼を慕う100人を超す野武士を率いて、横暴な権力者や金持ちを相手に痛快な争いを繰り広げる。自由でユーモアに富み誇り高い伝説の英雄ロビン・フッドの物語。

このブックリストは、1986年に北本市子ども文庫連絡会が作成し、その後、北本市立中央図書館・北本子どもの本を楽しむ会・北本市立こども図書館が加わり選書・改訂を行っています。

発行

北本市立中央図書館

TEL : 048-592-0795

{ 北本市文化センター指定管理者
acTrC (アクトーク) 北本ネットワーク }

北本市立こども図書館

TEL : 048-598-7642

{ 北本市立こども図書館指定管理者
シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 }

北本市子ども文庫連絡会

北本子どもの本を楽しむ会